

—総括表—

◆ 事業計画

□ 地域の現状と今後の方向性

不老町地域ケアプラザの担当圏域は5つの連合町内会を単位とした地区に寿地区と非常に広域となっており、人口(2022年3月)は約52,670人で、そのうち0歳～14歳は、6.65%、15歳～64歳は70.43%、65歳以上(高齢化率)は、22.92%となっています。地区別にみると各地区の特徴が窺えます。

石川打越地区

人口4,403人そのうち0歳～14歳は、7.00%、15歳～64歳は66.45%、65歳以上(高齢化率)は、26.55%となっています。住宅地、商業地として発展してきた地区で、親しみやすい下町風情が感じられます。古くから住んでいる住民が多いこともあり、地域の結びつきが強く、町内会と商店会が協力し地域活動が活発に行われています。また急な勾配の坂が多いこともまちの特徴となっています。

ふれあいサロンやスイーツの会、健康給食会などの継続した活動をはじめ、お祭りや商店会と協働した行事が盛んなことも特徴です。

埋地地区

人口12,264人そのうち0歳～14歳は、7.22%、15歳～64歳は73.68%、65歳以上(高齢化率)は、19.10%となっています。今から約350年前の干拓事業により埋め立てられた地であることが、名前の由来になっています。集合住宅と商業系ビルが立ち並び、交通の便は良く平地で暮らしやすいまちです。近年、町の再開発が活発で、「よこはまぶんたい」の建設、「武道館」や大学キャンパスの開設など町の新たな魅力が醸成されようとしています。また外国人の数は区内で一番多くなっています。地域活動も「埋地サロン」等の活動が継続され、時代のニーズに応じた取り組みが行われています。

第一北部地区

人口9,463人そのうち0歳～14歳は、6.92%、15歳～64歳は74.25%、65歳以上(高齢化率)は、18.83%となっています。野毛山の裾野と大岡川に沿った地域で、赤門町から桜木町駅までの細長い地区です。古くからの商店街があり、人情味ある下町と新しい街並みが融合しているほか、野毛大道芸などのイベントが活発で活気にあふれています。地区の活動は活発で、町の安全パトロールや地区センターを活用した高齢者給食会など世代の垣根を超えた交流が盛んに行われています。また給食会では新たにzoomを活用した取り組みが実現しています。

第一中部地区

人口13,117人そのうち0歳～14歳は、6.30%、15歳～64歳は74.50%、65歳以上(高齢化率)は、19.20%となっています。横浜開港から港に続く散歩道として親しまれる商店街を中心に、様々なイベント等で、町は活気にあふれています。外国人が多く暮らしており、国際色豊かな一面もあります。単身世帯が総世帯の7割を占め、単身世帯総数は、中区で一番多くなっています。地域の活動では次世代の担い手が軸となり、これまでの伝統行事に鑑みながら、新しい形での取り組みが実施されています。

関内地区

人口7,272人そのうち0歳～14歳は、10.26%、15歳～64歳は74.11%、65歳以上(高齢化率)は、15.64%となっています。横浜開港からの歴史ある街並みが魅力で観光スポットも点在します。官公庁街やオフィス街がある一方で、近年高層マンションが建築され住民が増えています。高齢者の割合は区内では一番少なくなっています。また、出生時から住んでいる住民の割合は少なく他の地域から流入してきた住民がほとんどです。住民の多くはマンション、集合住宅に居住しているほか、今後も新たな集合住宅の建設が予定されており、人口、世帯数とも増加傾向が続くと思われます。地区の活動は活発で、町の清掃活動やサロンをはじめ、伝統の餅つき大会の再開など活動が継続実施されています。

寿地区

人口6,151人そのうち0歳～14歳は、1.32%、15歳～64歳は47.93%、65歳以上(高齢化率)は、50.76%となっています。寿町を含む約0.06km²の範囲に120軒以上の簡易宿泊所が密集している地域で、約5,700人が宿泊しています。高度経済成長期には労働者達の街で賑わいましたが、住民の高齢化とともに、福祉ニーズの高いまちへと変容し、高齢化率は50%を超えるなど類を見ない高齢化が進んでいます。地域の活動は自治会や地区内の団体が積極的に活動されており、活発な住民支援が行われています。

今後の方向性

各地区ではコロナ対応方針の変更を踏まえ、地域の行事やイベントが再開されるなど、住民が主体となった地域づくりがより一層進んでいます。一方、コロナ禍で担い手の世代交代が進んだことにより、地域を支える担い手の不足はより顕著となったほか、子どもの減少、ゆるやかな高齢化、外国人の増加による生活マナーへの理解など、課題も多くあげられています。こうした地域の実情を踏まえ、「誰もが安心して暮らせるまちづくり」を実現するためには、子ども、働き世代、高齢者までの全ての世代だけではなく、障害者や外国籍の方も含めた地域への相互理解が必要になります。これらを実現するため、各地区の特徴をしっかりと把握・分析し受け止めたうえで、地域ケアプラザとして取り組みを加速させていきます。

今年度の重点的な取組

新規	継続	—具体的な取組内容—
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	地区連合町内会議や民児協などの会合に参加し、幅広い対象者の施設であることや、出張で相談・講座の開催ができることなど、地域ケアプラザの機能について定期的に説明・発信していきます。また、外国籍の方や障害児・者の支援についての事業を展開しネットワーク構築に取り組みます。
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	特例子会社との協力事業を通じて、障害者雇用における理解の啓発を推進します。各々得意分野を活かした民間企業や団体(プロスポーツクラブ)等との連携事業から、より多くの住民がイベントや地域活動に参加する機会を創出し、興味をもってもらうきっかけ(担い手の発掘)づくりに取り組みます。
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	住民との対話などから把握した地域ニーズをしっかりと捉え、専門職が協働で事業の企画に取り組み、地域住民向けの講座に反映していきます。また、ケアプラザの場やネットワークを活かし、多世代・多文化交流を促進できる事業(イベント)を開催します。そのほか情報通信技術を活かしたオンライン講座の開催のにくわえ、個別スマホ講座を企画し、ICT活用の推進において協働できる人材育成に取り組みます。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	認知症の普及啓発に取り組みます。具体的には地域活動への参加をとし認知症について地域住民と共有します。昨年度につづき定期的に不老町エリアのキャラバンメイト連絡会を開催します。また、認知症サポーター養成講座の中で、区役所やケアプラザの相談支援につながることで、対応可能な支援について周知を図っていきます。そのほか地域で認知症の方やそのご家族を支援でき、認知症になっても住み慣れた地域で暮らし続けられるまちづくりを実現するため、5職種で重層的支援に取り組みます。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	地域住民や担い手が課題と捉える個別ケースを選定し、地域ケア会議を効果的に活用することにより、地域や関係機関で課題意識を共有します。把握した地域課題は毎月開催している所内の共有会議のほか区役所や社協とも共有・検討し、課題に応じて包括レベル・区レベルの地域ケア会議に繋げていきます。

◆ 事業報告・事業実績評価

振り返り

令和5年度は、未曾有の災害から社会、経済をはじめ、地域活動がリスタートとした1年となりました。重点的な取り組みとして、地域ケアプラザを一人でも多くの皆様に活用いただけるよう、地域経済の始動とともにその機能やサービスについて、改めて積極的に発信することができました。

障害者理解の普及啓発では、圏域内で活動する作業所と連携し、販売などを通じたケアプラザ事業への協力の他、支援事業所の強みを生かした、小学生向けプログラミング体験会等を実施し、事業所のPRに繋げることができました。

ICT(情報通信技術)を活用した「スマホ講座」は、QRコードやカメラの活用に内容を絞り、生活に利用できる便利機能として参加者へ広く周知することができました。

認知症の方やその家族支援では、地域の認知症サポーターを養成するキャラバンメイト連絡会の定期開催をはじめ、認知症に関する出張講座を開催し、認知症に対する正しい知識とその対応について、理解の促進を図りました。

地域ケア会議の効果的な活用については、地元住民や地域関係者で個別の事例から地域の事例まで幅広く検討をおこない、種々課題について共有したと同時に、個人力や地域力についても共有することができました。

「つながる・支え合う」といった地域共生社会の実現に向けて、地域社会を取り巻く環境や住民の意識が変化する中で、総人口の1割を超える外国人が活躍する中区の実情に鑑み、地域の皆様をはじめ、地元企業を巻き込んだ取り組みにチャレンジしました。結果、言葉や文化の垣根を超えた交流機会の創出につながり、小さなお子さまから高齢者、障害者、外国人など、それぞれの立場で多様性を認め合う地域社会の形成に向けた支援に取り組むことができました。

区からのコメント

多地区を抱える地域ケアプラザでありながら、積極的に地域に出向き、地域ケアプラザの周知や関係づくりに努めていただいています。

立地を活かして、様々な事業所と連携し、講座やイベントの実施に繋がっています。

コロナ禍から戻りつつある地域福祉活動が続けられるよう、新たな担い手の育成など、支援をしていただけたらと思います。

令和5年度不老町地域ケアプラザ事業計画書・報告書(施設運営、介護保険事業)

1 施設の適切な運営について

	公正・中立性の確保について	コンプライアンスへの対応について (事故防止、個人情報保護等)
取組計画	公設の施設として、相談者の意思を尊重し、住民・地域団体・事業者に対し、公正・中立な立場で業務にあたる。事業者の選定等にあたっては、一覧表などの資料を活用しながら複数の選択肢があることを提示し、適切な支援・情報提供に取り組む。	個人情報保護やあらゆる事故に対する危機意識を常にもって業務に取り組む。重大な事故に至ってしまう可能性がある事案や一歩手前の事例に対し、ヒヤリハット報告書を作成し、職員間で共有し業務改善に努める。
実績	施設の役割を認識し、住民・地域団体・事業者に対し、公正・中立な立場で業務に努めた。事業者の選定等にあたっては、「ハートページ」や「介護情報かながわ」などの資料を活用し、複数の選択肢があることを提示し、適切な支援・情報提供に取り組んだ。	常に事故に対する危機意識をもって業務に取り組んだ。重大な事故に至ってしまう可能性がある事案や一歩手前の事例に対し、速やかにヒヤリハット報告書を作成し、職員間で共有し事故防止に努めた。

2 指定介護予防支援事業、居宅介護支援事業

	指定介護予防支援事業 第1号介護予防支援事業	居宅介護支援事業
目標	利用者本人が目標を理解した上で、その達成のために必要なサービスを主体的に利用し、目標の達成に取り組んでいけるような計画の作成が実行できている。	「自立支援」を基本に計画を作成し、公的サービスをはじめ、インフォーマルな地域資源を活用した支援に取り組む。
利用料金	【サービスに係る費用】 指定介護予防支援に要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十九号)及び横浜市介護予防ケアマネジメント実施要綱に基づく金額	【サービスに係る費用】 指定居宅介護支援に要する費用の額の算定に関する基準(厚生省告示第二十号)に基づく金額
	【その他料金】	【その他料金】
職員体制	管理者 1名 包括兼務職員5名	管理者 1名 介護支援専門員 3名
契約者数	471件	55件

3 通所系サービス事業

	通所介護・第1号通所介護	(介護予防)認知症対応型通所介護	地域密着型通所介護
目標	利用者の意向を尊重し、安全・安心のサービスに努め、その人らしい「自立」を支援する。		
実施体制	【実施日数】 週7日(年末年始12/29～1/3を除く) 【提供時間】 午前9時30分～午後4時30分 【定員】 35名	【実施日数】 【提供時間】 【定員】	【実施日数】 【提供時間】 【定員】
	【サービスに係る費用】 指定居宅サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生省告示第十九号)及び横浜市介護予防・日常生活支援総合事業実施要綱に基づく金額	【サービスに係る費用】 指定地域密着型サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十六号)及び指定地域密着型介護予防サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十八号)に基づく金額	【サービスに係る費用】 指定地域密着型サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十六号)に基づく金額
利用料金	【その他料金】 食材料費 750円	【その他料金】	【その他料金】
職員体制	管理者 1名 相談員兼介護員 3名 介護員 9名 看護師兼機能訓練指導員 8名		
契約者数等	【延べ利用者数】 7,941人	【延べ利用者数】	【延べ利用者数】
	【契約者数】 83件	【契約者数】	【契約者数】

令和5年度「横浜市不老町地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（一般会計）＜地域活動交流＞

収入の部

(単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	19,010,401	646,895	19,657,296	19,657,296	0	横浜市より
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）			0		0	
雑入	0	0	0	0	0	
印刷代	0		0		0	
自動販売機手数料	0		0		0	
その他					0	
その他				253,459	△ 253,459	夜間戻入金・修繕費戻入金
収入合計	19,010,401	646,895	19,657,296	19,910,755	△ 253,459	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	12,169,000	0	12,169,000	12,097,200	71,800	
本俸	9,603,000		9,603,000	8,581,331	1,021,669	
社会保険料	1,157,000		1,157,000	1,253,828	△ 96,828	
手当計	1,306,000		1,306,000	2,093,190	△ 787,190	
健康診断費	8,000		8,000	13,100	△ 5,100	
勤労者福祉共済掛金	0		0		0	
退職給付引当金繰入額	83,000		83,000	126,201	△ 43,201	
その他	12,000		12,000	29,550	△ 17,550	
事務費	592,000	0	592,000	1,174,080	△ 582,080	
旅費	1,000		1,000	5,502	△ 4,502	
消耗品費			0	498,827	△ 498,827	
会議賄い費	0		0	0	0	
印刷製本費			0	48,564	△ 48,564	
通信費	244,000		244,000	223,949	20,051	電話料金、郵送代 他
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
自販機目的外使用料（横浜市への支出）	0		0	0	0	
その他	0		0	0	0	
備品購入費	0		0	0	0	
図書購入費	0		0	0	0	
施設賠償責任保険	8,000		8,000	9,878	△ 1,878	
職員等研修費	1,000		1,000	1,000	0	研修に伴う交通費
振込手数料	30,000		30,000	715	29,285	
リース料	131,000		131,000	29,338	101,662	AEDリース、複合機リース代 他
手数料	10,000		10,000	7,700	2,300	残高証明書代
地域協力費	0		0	0	0	
その他	167,000		167,000	348,607	△ 181,607	パソコンソフト等保守、コピーカウンター料金
事業費	200,000	0	200,000	189,977	10,023	
運営協議会経費	10,000		10,000		10,000	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）	183,000		183,000	189,977	△ 6,977	
その他	7,000		7,000		7,000	
管理費	6,406,000	0	6,406,000	4,566,953	1,839,047	
光熱水費	5,052,000		5,052,000	3,118,511	1,933,489	
清掃費	209,000		209,000	209,257	△ 257	
機械警備費	70,000		70,000	70,077	△ 77	
設備保全費	1,075,000	0	1,075,000	1,147,818	△ 72,818	
空調衛生設備保守	227,000		227,000	189,790	37,210	
消防設備保守	88,000		88,000	87,596	404	
電気設備保守	76,000		76,000	110,752	△ 34,752	
害虫駆除清掃保守	36,000		36,000	36,012	△ 12	
駐車場設備保全費			0		0	
その他保全費	648,000		648,000	723,668	△ 75,668	
共益費	0		0		0	
その他	0		0	21,290	△ 21,290	
修繕費	646,000		646,000	1,020,436	△ 374,436	
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税	0		0		0	
消費税			0		0	
印紙税	0		0		0	
その他	0		0		0	
その他	0		0		0	
支出合計	20,013,000	0	20,013,000	19,048,646	964,354	
差引	△ 1,002,599	646,895	△ 355,704	862,109	△ 1,217,813	

自主事業費 収入	0	0	0	0	0	
自主事業費 支出	183,000	0	183,000	189,977	△ 6,977	
自主事業 収支	△ 183,000	0	△ 183,000	△ 189,977	6,977	

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	0	0	0	0	0	

※各大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合があります。

令和5年度「横浜市不老町地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（一般会計）＜包括・介護予防・生活支援＞

収入の部

(単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料【包括】	41,126,852		41,126,852	41,126,852	0	横浜市より
指定管理料【介護予防】	154,000		154,000	154,000	0	横浜市より
指定管理料【生活支援】	5,846,090		5,846,090	5,827,590	18,500	横浜市より
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【包括】			0		0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】			0		0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】			0	18,500	△ 18,500	
雑入	0	0	0	0	0	
印刷代	0	0	0	0	0	
自動販売機手数料	0	0	0	0	0	
その他	0	0	0	0	0	
その他			0	446,706	△ 446,706	協力医戻入・修繕費戻入
収入合計	47,126,942	0	47,126,942	47,573,648	△ 446,706	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	42,309,873	0	42,309,873	42,309,873	0	包括・生活支援人件費
本俸	26,514,000		26,514,000	24,155,850	2,358,150	
社会保険料	4,851,000		4,851,000	5,596,716	△ 745,716	
手当計	4,969,000		4,969,000	11,730,844	△ 6,761,844	
健康診断費	30,000		30,000	37,992	△ 7,992	
勤労者福祉共済掛金			0		0	
退職給付引当金繰入額	432,000		432,000	736,362	△ 304,362	
その他	47,000		47,000	52,109	△ 5,109	
事務費	839,000	0	839,000	965,302	△ 126,302	
旅費	2,000		2,000	2,760	△ 760	
消耗品費	11,000		11,000	237,017	△ 226,017	
会議賄い費			0	4,705	△ 4,705	
印刷製本費			0	0	0	
通信費	378,000		378,000	334,079	43,921	
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
自販機目的外使用料（横浜市への支出）	0		0	0	0	
その他	0		0	0	0	
備品購入費	55,000		55,000	0	55,000	冷蔵庫購入
図書購入費	5,000		5,000	0	5,000	
施設賠償責任保険	16,000		16,000	19,756	△ 3,756	
職員等研修費	6,000		6,000	16,744	△ 10,744	
振込手数料	1,000		1,000	0	1,000	
リース料	125,000		125,000	92,710	32,290	AEDリース、複合機リース代 他
手数料			0	0	0	
地域協力費			0	0	0	
その他	240,000		240,000	257,531	△ 17,531	コピーカウンター料・ソフト他保守料・会費等
事業費	573,000	0	573,000	476,011	96,989	
協力医	252,000		252,000	210,000	42,000	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【包括】	44,000		44,000	11,081	32,919	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】	154,000		154,000	150,799	3,201	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】	123,000		123,000	104,131	18,869	
その他			0	0	0	
管理費	1,701,000	0	1,701,000	1,213,987	487,013	
光熱水費	1,343,000		1,343,000	828,971	514,029	
清掃費	43,000		43,000	55,623	△ 12,623	
機械警備費	19,000		19,000	18,627	373	
設備保全費	296,000	0	296,000	305,106	△ 9,106	
空調衛生設備保守	60,000		60,000	50,450	9,550	
消防設備保守	23,000		23,000	23,284	△ 284	
電気設備保守	20,000		20,000	29,438	△ 9,438	
害虫駆除清掃保守	10,000		10,000	9,572	428	
駐車場設備保全費			0	0	0	
その他保全費	183,000		183,000	192,362	△ 9,362	
共益費	0		0	0	0	
その他			0	5,660	△ 5,660	
修繕費	157,000		157,000	99,294	57,706	
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税	0		0	0	0	
消費税	0		0	0	0	
印紙税	0		0	0	0	
その他	0		0	0	0	
その他	0		0	0	0	
支出合計	45,579,873	0	45,579,873	45,064,467	515,406	
差引	1,547,069	0	1,547,069	2,509,181	△ 962,112	

自主事業費 収入	0	0	0	18,500	△ 18,500	
自主事業費 支出	321,000	0	321,000	266,011	54,989	
自主事業 収支	△ 321,000	0	△ 321,000	△ 247,511	△ 73,489	

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	0	0	0	0	0	

※各大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合もあります。

令和5年度 横浜市不老町地域ケアプラザ収支予算書及び報告書<介護保険事業分>

施設名:横浜市不老町地域ケアプラザ

(単位:千円)

	科目	第1号介護予防支援			介護予防支援			居宅介護支援			通所介護			第1号通所介護		
		予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引
収入	介護保険収入	14,741	14,145	596	13,183	14,892	-1,709	11,550	12,082	-532	89,177	83,445	5,732	4,959	4,052	907
	その他	0	0	0	0	0	0	282	304	-22	3,112	268	2,844	0	0	0
	事業・負担金収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	受託収入	0	0	0	0	0	0	282	304	-22			0	0	0	0
	受取利息配当金収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	87	86	1	0	0	0
	寄付金収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	25	0	25	0	0	0
	雑収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	90	100	-10	0	0	0
	その他(補助金収入等)	0	0	0	0	0	0			0	2,910	82	2,828	0	0	0
	収入合計(A)	14,741	14,145	596	13,183	14,892	-1,709	11,832	12,386	-554	92,289	83,713	8,576	4,959	4,052	907
支出	人件費	0	0	0	0	0	0	13,236	13,467	-231	66,885	59,967	6,918	0	0	0
	事務費	0	0	0	0	0	0	858	1,307	-449	9,017	2,380	6,637	0	0	0
	事業費	0	0	0	0	0	0		28	-28	7,845	7,519	326	0	0	0
	管理費	0		0	0	0	0	0		0	6,258	11,846	-5,588	0	0	0
	その他	12,013	11,757	256	10,743	12,428	-1,685	0	0	0	6,194	4,797	1,397	0	0	0
	利用者負担軽減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0	0	0
	消費税(租税公課)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,714	4,660	-1,946	0	0	0
	介護予防プラン委託料	12,013	11,757	256	10,743	12,428	-1,685	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	固定資産取得支出	0	0	0	0	0	0			0	1,100	137	963	0	0	0
	雑支出	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0	0	0
土地・建物賃借料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,380	0	2,380	0	0	0	
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
支出合計(B)	12,013	11,757	256	10,743	12,428	-1,685	14,094	14,802	-708	96,199	86,509	9,690	0	0	0	
収支 (A)-(B)	2,728	2,388	340	2,440	2,464	-24	-2,262	-2,416	154	-3,910	-2,796	-1,114	4,959	4,052	907	

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業を実施している場合は、事業ごとに列を追加して記載してください。

令和5年度 自主事業計画書・報告書

■ 事業 1：地域活動交流事業 2：地域包括支援センター運営事業 3：生活支援体制整備事業 4：共催（1と2） 5：共催（1と3） 6：共催（2と3） 7：共催（1と2と3）			■ 事業の性質 1：優先的に取り組みが求められる事業 2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業			■ 主な対象者、従たる対象者 1：高齢者 2：障害児・者 3：養育者及び乳幼児 4：子ども・青少年 5：地域 6：事業者 7：その他		
---	--	--	---	--	--	--	--	--

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
1	あったかサロン	平成29年度	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	「全世代まるごと支援」を掲げ地域の皆さんが気軽に集うことのできるフリースペースとして開催。職種・部門を問わず連携し、事業実施できる場として活用する。	5:地域		・毎月第4木曜日13:30～15:00(変動あり) ・無料(フリードリンク中止)(材料費負担あり) ・多職種連携(生活支援、包括)による講座等の開催 ・多世代、多文化交流、情報提供の機会 ・ボランティア活動機会の提供 ・貸館利用団体の活動発表	11	158
2	子育て支援「あのね」	平成18年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	子育て中の親子に交流の場の提供を行う。また、平成25年度より開始された子育て相談員による子育て相談も行う。子育て情報の提供や、子育てに関する講座等の開催も実施し、子育て中の支援を行っていく。	3:養育者及び乳幼児		・毎月第1、2、4、5月曜日10:00～12:00、14:00～15:30 ・無料 ・10:00～12:00子育て支援者による子育て相談「ぶっくりんこ」(祝日を除く) ・第2週PMおはなし会ちゅーりっぷ、第4週PM横浜山手読書会おはなし会	38	780
3	ママリフレッシュ	平成23年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	育児中の母親に対して、ヨガを取り入れた運動を通して、心身をほぐし体調を整えていくことを目的とする。また交流・情報交換の場とする。	3:養育者及び乳幼児		・第4金曜日10:30～11:30 ・感染予防対策で定員5組(年度内8組まで拡大予定) ・講師によるおやこの触れ合い、ストレッチ、ヨガ ・参加費200円	12	124
4	第5回 不老町ケアプラザまつり	平成30年度	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	ケアプラザの周知、住民同士の交流、活動発表の機会提供を主な目的とする。貸館利用団体や子ども食堂、ボランティアの協力で開催する。	5:地域		・11/23祝日 ・貸館利用団体による発表、作品展示 ・ケアプラザの周知、住民同士の交流 ・関係機関との協働 ・ボランティア活動交流機会	1	214
5	ふーさんフードパントリー	令和元年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	子ども食堂の協力で開催し、活動への理解や周知の機会とする。きっかけ作りや交流の場の機会提供を行う。就B事業所と協力し当事者支援を行う。	5:地域		・年度内3回 ・無料 ・子ども食堂と共催 ・地域作業所と協力し当事者支援 ・食支援団体やRCとの協働	3	202
6	福祉体験→職業講話(南吉田小学校)	令和2年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	子どもの頃から福祉について学ぶ機会を設ける。(親子参加可能とすることで、養育者世代にも同様の機会とする)体験型の講座を通し、身近に感じる機会を創るとともに、障害理解の啓発への足がかりとする。	4:子ども・青少年		・年1回 ・車いす乗車体験、白杖体験、ボランティア団体によるミニ講話 ・区社協に協力依頼予定	1	70
7	いきいきスマイル塾(介護予防教室等)	令和3年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	地域の高齢者が定期的に外出し機会を作り、自らが継続的に介護予防の活動に取り組むことを目的とします。	1:高齢者		・会場:不老町地域ケアプラザ多目的ホール ・介護予防教室 ・年8回 第3水曜日10時～11時 ・地域指導者によるコグニサイズ、浜トレを中心とした体操	7	81
8	今日からはじめるフレイル予防講座(健康教育・出前講座)	令和3年度	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	地域高齢者がフレイルについて理解を深め、予防法を学ぶ事が出来るようになること、エリアが広範囲のため、ケアプラザまで来館することが難しい方が多い。多くの方に参加していただくことを目的としています。	1:高齢者		・地区センターや地域開催のサロン・老人会などに出張し、包括職員や講師(栄養士・運動指導士・歯科衛生士など)によるフレイル予防講座の開催 ・年3回程度開催予定→5/19(寿デイ)6/16(野毛3・4丁目青会)9/18(日ノ出町内会測定会)9/26(寿デイ)10/13(石打サロン測定会)11/14(いきいきルンルン測定会)11/30(衰えない運動講座クロスストリート)1/18(野毛地区センター・口腔)3/28(夕焼け元気かい・測定会)	9	147
9	FFY(ふーさんフレイル予防)教室(介護予防教室等)	令和5年度	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	オーラルフレイルについて理解を深め、健康寿命の延伸に向けて取り組めるよう関心を持ってもらうことを目的とします。	1:高齢者		・会場:不老町地域ケアプラザ多目的ホール ・歯科医師による講座 ・9/28開催(あったかサロンと共催)	1	17
10	FFY(ふーさんフレイル予防)教室(介護予防教室等)	令和4年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	介護予防の基礎知識・社会参加が健康づくりにつながる事を楽しみながら学ぶことを目的とします。	1:高齢者		・会場:千歳公園 ・寿町健康福祉交流協会職員によるノルディックウォーキング →9/21(雨天中止)	0	0
11	FFY(ふーさんフレイル予防)教室(健康教育・出前講座)	令和4年度	4:共催(1と2)	1:優先的に取り組み	地域高齢者がフレイルについて理解を深め、ロコモ予防に取り組むこと、ケアプラザまで来館することが難しい方が多い。自宅でも参加していただけることを目的としています。	1:高齢者		・会場:不老町地域ケアプラザ ・中スポーツ協会講師体操講座 ・ICT活用・ハイブリット型にて開催予定 ・2/22予定(あったかサロン共催)	1	28
12	FFY(ふーさんフレイル予防)教室(介護予防教室等)	令和5年度	4:共催(1と2)	1:優先的に取り組み	フレイル栄養講座 いつまでも楽しく食事をしてもらうための栄養講座。高齢者に限らず介護者など多くの方に参加してもらうことを目的とします。	1:高齢者		・会場:不老町地域ケアプラザ多目的ホール ・企業(キューピー株式会社)による栄養講座 ・10/26開催(あったかサロン・介護者のつどい共催)	1	31
13	楽しく学んで健康長寿～男の健康くらぶ(仮)～	令和5年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	男性を対象とした講座 男性の介護予防教室への参加率向上を目的とします。	5:地域		・会場:不老町地域ケアプラザ ・簡単な調理などを行いながらフレイルについて学ぶ(管理栄養による講座) ・12/3開催	1	5
14	初めてのそば打ち体験～男の健康くらぶ(仮)～	令和5年度	4:共催(1と2)	1:優先的に取り組み	男性を対象とした講座 蕎麦作りを通じ介護予防教室を知ってもらう。 男性の介護予防参加率向上・多文化交流を目的とします。	1:高齢者		・会場:不老町地域ケアプラザ ・蕎麦作りを通じ介護予防講座 ・5/31予定	1	8

■ 事業 1：地域活動交流事業 2：地域包括支援センター運営事業 3：生活支援体制整備事業 4：共催（1と2） 5：共催（1と3） 6：共催（2と3） 7：共催（1と2と3）			■ 事業の性質 1：優先的に取り組みが求められる事業 2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業		■ 主な対象者、従たる対象者 1：高齢者 2：障害児・者 3：養育者及び乳幼児 4：子ども・青少年 5：地域 6：事業者 7：その他		
---	--	--	---	--	--	--	--

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
15	Happyポプリ&Happyトーク (7月、9月) Xmasアレンジメント(12月)	令和5年度	3:生活支援体制整備事業	2:発展させる ねらい	五感への刺激、対話、手指巧緻性等、多様なアプローチによる介護予防。 居場所作りにおける心身の安定と地域間交流を図り、独居高齢講師への社会参加機会、見守りの場を担保する。	1:高齢者	12月	・5月・9月・12月に10名定員で開催。 ・天然素材の色彩、触感や香り等五感を刺激するポプリ製作による介護予防。 ・他地区間交流の場となり、地域情報共有と会話を楽しむ場の創出。	2	18
16	瓦版 発行	令和2年度	3:生活支援体制整備事業	1:優先的に 取り組み	地域活動への後方支援と情報発信。 地域住民との関係性を構築し、地域づくりへの基盤作りとなる。 地域に向けたCP周知。	1:高齢者		・A4カラー両面印刷を近隣の障害者作業所「百合の樹」へ依頼。 ・毎月300部発行 ・地域活動団体や住民に向け配布。	12	0
17	第1回つながる！みんなフェス	令和5年度	5:共催(1と3)	1:優先的に 取り組み	ケアプラザ・日ノ出川公園の周知、来館や利用のきっかけ作りとする。多世代・多文化交流や貸館登録団体の活動機会創出も目指す。 また高齢者の外出機会、介護予防の啓発、中区地域福祉保健計画のPR、作業所、障がい当事者の活動機会・障がい理解の啓発等としても活用する。	5:地域		・5/13(土)10:30～13:00※雨天時5/20 ・共催&会場:日ノ出川公園 ・横浜市スポーツ協会、横浜エクセレンス、地域作業所、なか国際交流ラウンジ、区役所とも協力。 ・福祉保健協力団体の発表	1	75
18	第2回 埋地ミニ夏まつり	令和4年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に 取り組み	横浜武道館・横浜エクセレンス(バスケットチーム)・ケアプラザの周知機会、情報提供の機会創出。 地域住民へのスポーツの普及推進。地域資源としての連携、協働体制の構築。	5:地域		・7/22(土)15:00～18:00 ・武道館とケアプラザ、日ノ出川公園の外スペースで開催予定。 ・三者で合同共催 ・地域資源が一堂に会し、周知PR ・多文化、多世代交流 ・地域の方が自由に参加できるイベント	1	360
19	介護者のつどい	平成25年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に 取り組み	高齢者虐待を未然に防ぐため、養護者のストレス軽減や適切な介護の知識が得られる場をつくり介護者の負担軽減を図る目的で開催する。	1:高齢者		・会場:不老町地域ケアプラザ(年4回開催予定) ・介護者同士で悩みを共有しストレス軽減や気分転換、介護経験者からのアドバイスが受けられる(茶話会形式)	3	8
20	元気なうちに楽しく学ぶ THE 終活講座	令和5年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に 取り組み	専門家と連携し終活講座を開催し、自分のことを自分で考えて行動を起こせるうちに将来のことを考えていただくきっかけとする。	5:地域		・会場:不老町地域ケアプラザ ・全8回の講座開催。(遺言、成年後見制度、任意後見制度、生前整理、葬儀、まとめ)	6	65
21	似顔絵講座(仮) →実施なし	令和5年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に 取り組み	ボランティアの活動機会創出。地域における多世代・多文化交流のきっかけづくりとする。 地域活動の支援(内容に悩んでいる活動でのプログラムの一つとして提案)としても活用する。	5:地域		・地域にて開催予定 ・多世代・多文化交流(言葉が通じなくても実施できる内容)→参加者同士の交流をメインとする	0	0
22	ほほえみがえし 発行回数記載 配布数計上記載なし	平成29年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に 取り組み	ケアプラザの周知、情報発信を主な目的として広報誌を発行、配架する。各部署からのトピックを掲載。事業案内も行う。	5:地域		・年6回 奇数月発行 ・広報 ・地福計画のPR企画に不随する事業として実施	6	0
23	キャラバンメイト連絡会	令和1年度	7:共催(1と2と3)	1:優先的に 取り組み	地域のキャラバンメイトと連携し、地域で認知症サポーター養成講座を実施することで認知症になっても安心して暮らせるまちづくりを目指す。	5:地域		・隔月でキャラバンメイト連絡会を開催し講座の企画、情報共有をおこなう。	5	10
24	親子で楽しむおはなし会	令和4年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に 取り組み	親子で絵本や紙芝居に触れ合う機会を提供する。情報交換や、お友達作りの機会を創出する。(月曜日の「あね」に参加出来ない親子にも参加してもらえるよう金曜日に設定) ケアプラザの周知、来館のきっかけづくり。	3:養育者及び乳幼児		・団体ボランティアの活動機会。 ・6/2・9/1・12/1・2/2金曜日AM(予定) ・無料	3	6
25	出張のんびり親子であそぼう 子育てサロンあね特別バージョンⅢ	令和3年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に 取り組み	地域資源である横浜武道館とケアプラザの周知を主な目的とする。のんびりこ利用者でもケアプラザをしたことがない方にアプローチする。見学ツアーとプログラムを組み合わせ、情報提供や交流の場を創出。	3:養育者及び乳幼児		・5/29(月)14:00～15:30 ・会場:不老町地域ケアプラザ・横浜武道館 ・共催:のんびりこ、横浜武道館 ・横浜武道館見学ツアー ・各施設からの情報提供とPR	1	11
26	出張講座 暮らしの豆学 お 片付け・生前整理	令和5年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に 取り組み	ケアプラザまで遠く聞きに来られない方にも元気なうちに「終活」について考えていただくきっかけを作る。	5:地域		・11/9(木)13:30～15:00 ・会場:Site-D アメージ株式会社によるお片付け・生前整理の講座を行う。	1	22
27	シニアのためのかんたんスマホ教室	令和3年度	7:共催(1と2と3)	1:優先的に 取り組み	地域の住民の方ICTを利用できるスキルを習得する目的とします。	1:高齢者		・会場:不老町地域ケアプラザ ・ICT(スマホ・ZOOMなど)の利用方法の講座 ・年数回開催(集団)秋・冬頃	1	6
28	不老町地域ケアプラザ出張会	令和3年度	7:共催(1と2と3)	1:優先的に 取り組み	地域ケアプラザが身近な相談窓口としてケアプラザを利用しただけになることを目的とします。	5:地域		・地域のサロンなどへケアプラザ職員が出向き、ケアプラザや介護保険の制度の説明、見守りキーホルダーの登録会などを不定期に開催(5/25チャレール海岸通り8/26石川2丁目サロン9/26ともえ会)	3	44
29	健康フェスタ ～健康寿命をのばそう～	令和5年度	7:共催(1と2と3)	1:優先的に 取り組み	・地域高齢者が測定会などを通じ身近に介護予防を感じてもらおうこと、介護予防の普及啓発を目的としています。	1:高齢者		・会場:不老町地域ケアプラザ多目的ホール ・企業や区役所・保健活動推進委員など協力のもと測定会などを各ブースで実施 ・地域高齢者が自由に参加できるイベント ・8/3開催	1	40

■ 事業 1：地域活動交流事業 2：地域包括支援センター運営事業 3：生活支援体制整備事業 4：共催（1と2） 5：共催（1と3） 6：共催（2と3） 7：共催（1と2と3）	■ 事業の性質 1：優先的に取り組みが求められる事業 2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業	■ 主な対象者、従たる対象者 1：高齢者 2：障害児・者 3：養育者及び乳幼児 4：子ども・青少年 5：地域 6：事業者 7：その他
---	---	--

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
30	ICT人材育成講座	令和4年度	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	地域住民のICT活用を促進する。ICTを活用した事業展開の際、協力いただける人材を育成する。(担当圏域内で)広く住民向けに行うのではなく、個別対応とすることでより効果的に人材育成を実施する。	5:地域		・スマホ個別ミニ相談会を実施(年2回) ・事前に担い手となり得る方、地域での活動者に声掛けすることで、今後の事業協力への呼びかけを行っていく	1	4
31	中区民祭り(ハローよこはま)のブース出展	令和5年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	中区内地域ケアプラザ共同でブース出展し、地域住民に向けた事業の周知を行う。	5:地域		・会場:象の鼻パーク周辺 ・社会福祉士職から終活のためのエンディングノート活用や成年後見制度の啓発を行う。	1	150
32	衛生害虫対策講座	平成28年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	不老町地域CPエリア内のケアマネジャーを対象に衛生害虫(トコジラミ・ゴキブリ・ネズミなど)対策講座を実施し利用者だけでなく支援者自身も守れるよう致死域を得て支援・活動に生かして行く。	6:事業者		・会場 不老町CP 多目的ホール ・区役所、職員による容疑、質疑応答 ・害虫発生リスクの大きい次期、以前に研修を実施する。	1	22
33	介護保険外サービスや障害制度の理解	令和5年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	地域の介護保険事業を支えるケアマネ無研修をかいごのWaと共同でエリアのケアマネジャー研修を実施します。	6:事業者		・会場 不老町CP 多目的ホール ・区役所、職員による講義、質疑応答 ・みなし2号の制度の利用、障害区分の制度利用について	1	45
34	ACP研修「もしばなゲーム」	令和5年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	地域の介護保険事業を支えるサービス事業所向けにACP講義とグループでもしばなゲームをおこない看取り期や終活支援のスキルアップを目指す。	6:事業者		・会場 不老町CP 多目的ホール	1	28
35	ごぼう先生オンラインレク	令和5年度	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	ICT環境を利用し、体操や仲間との交流・社会参加が健康づくりにつながる事学ぶ。楽しみながらICTを体験するを目的とします。	1:高齢者		・会場:不老町地域ケアプラザ ・第一興商機材活用 ・ICT機材を利用し脳トレ・交流 ・5/10開催	1	4
36	認知症サポーター養成講座	令和元年度	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	認知症になっても住み慣れた地域で暮らせるよう地域の方に認知症の正しい理解について講座をおこない、認知症サポーターを養成する。	5:地域		年に数回、地域にて認知症サポーター養成講座を実施	3	84
37	不老町地域ケアプラザ出張講座	令和5年度	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	地域ケアプラザが身近な相談窓口としてケアプラザを利用していただけるようになることを目的とします。	5:地域		・野毛地区センターにケアプラザ職員が出向き、ケアプラザや介護保険の制度の説明などの講座開催→4/21.2/27 ・野毛地区センターと共催事業	2	19
38	第1回チャレンジまちピカ	令和5年度	1:地域活動交流事業	2:発展させるねらい	CPや横浜武道館、区民活動センターなどに来館するきっかけをつくる。楽しく参加できるクリーン活動を目指す。親子で参加できる「まち歩き」によって、「まちを知る」ことに繋げていく。多世代交流も狙いとす。	5:地域		・9/30(土)10:00~12:30 ・不老町CP→横浜武道館→日ノ出川公園→なか区民活動センターを歩きながらゴミ拾い。 主催:ボランティアの仲間たち 協力:日ノ出川公園・就労移行支援事業所ミライエ・なか区民活動センター・中区地域振興課・不老町地域ケアプラザ 協賛:横浜エクセレンス	1	26
39	郵便局への成年後見制度普及啓発	令和5年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	郵便局職員に成年後見制度の知識を得ていただくことで、成年後見制度による支援を受けられる対象の方を増やすとともに、郵便局との連携を図っていく。	5:地域		8/23:ケアプラザの役割について説明 10/18:リーフレットに沿った成年後見制度の説明 10/31:専門職による質疑応答	3	40
40	第1回山吹公園フェス	令和5年度	4:共催(1と2)	2:発展させるねらい	町内会活動周知、担い手仲間づくり、地域の交流の場づくりの為、町内会拠点とする警察、県看護協会、消防署のブース協力を得て開催。なか国際交流ラウンジの通訳ボランティア協力により多世代、多文化交流場となる。	5:地域		・10/28(土)11:00~15:00 山吹公園にてキッチンカー、町内会活動パネル紹介、模擬炎消化体験(消防)、特殊詐欺講話(警察)、健康クイズ(県看護協会)ブース。恒例行事として検討。	1	200
41	第1回みんな集まれ!第一地区中部	令和5年度	6:共催(2と3)	2:発展させるねらい	クロスストリートを基幹とし通いの場創生の為後方支援。第1回「衰えない運動講座」を包括介護予防と協力。第2回「お薬手帳講座」保活中心となる為企画から後方支援中。	5:地域		・11/30(木)「衰えない運動講座」歩行バランスアドバイス13:30~15:00 ・R6.2/27「もっと便利に!お薬手帳講座」地区社協、商店街、保活が協働で通いの場創生に向け継続開催の後方支援。	2	71
42	おにぎりカフェ	令和5年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	夏休み・冬休みの等の長期休暇中、学校給食がないため、食支援の一環として企画。また、孤食防止、自宅でも自分で食の準備が出来る様、おにぎりを作る機会として設定。家族、学校以外の大人と関わる場所の提供。	4:子ども・青少年		・第1回:8/9 夏休み中 ・第2回:12/23 冬休み中 ・主催:みなとこども食堂 ・協力:不老町地域ケアプラザ、中区こども家庭支援課	2	10
43	障がいの理解啓発①プログラミング体験会	令和5年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	事業所の強みであるPCスキルを活用し、地域貢献を叶える。会場を事業所に設定することで、参加者に事業所PRを行う。小学生をメインの対象とし、保護者同伴とすることで、障がいの理解啓発促進を狙う。	5:地域		・第1回:1/13 10:30~12:00 ・第2回:3/23 10:30~12:00 ・主催:就労移行支援事業所manaby横浜関内南口事業所	2	8
44	障がいの理解啓発②カードゲームで遊ぼう!	令和5年度	1:地域活動交流事業	2:発展させるねらい	事業所クルー・OBが活動しているゲーム部の延長として企画。カードゲームを通して多世代、障がい当事者と住民の交流機会を創出。今後は事業所がより主体的に企画していけるよう共催→協力を目指す。	5:地域		3/30(土)15:30~16:30	1	6